取扱説明書 / 保証書

EHEIM autofeeder

エーハイム オートフィーダー

観賞魚用自動給餌器

● このたびは、エーハイムオートフィーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。

● この取扱説明書は保証書も兼ねています。必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。

本製品は観賞魚用品です。他の目的では使用しないでください。間違った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などについては一切補償いたしかねます。

機種名	エーハイム　オートフィーダー
エーハイムコード	3581060
適用	淡水・海水両用、屋内専用
原産国	中国
サイズ（組立時）	約 幅 60× 奥行 136× 高さ 66mm
対応できるエサの形状	フレーク、ペレット（沈下性、浮上性）、顆粒状など　※
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 ×2 本

※約 15mm以上あるエサは餌排出口で詰まるおそれがあります。
※エサの形状によっては対応しない場合があります。
　ご使用方法 6. をご確認ください。

日本総代理店

神畑養魚株式会社　用品部　〒670-0073　姫路市御立中 3 丁目 3-20

ホームページアドレス　https://www.kamihata.co.jp

【製品に対するお問い合わせ】

TEL 079-297-5420　FAX 079-293-6467

エーハイム製品専用ページ　https://www.eheim.jp

※本製品は改良のため予告なく仕様、デザイン等を変更することがあります。あらかじめご了承願います。

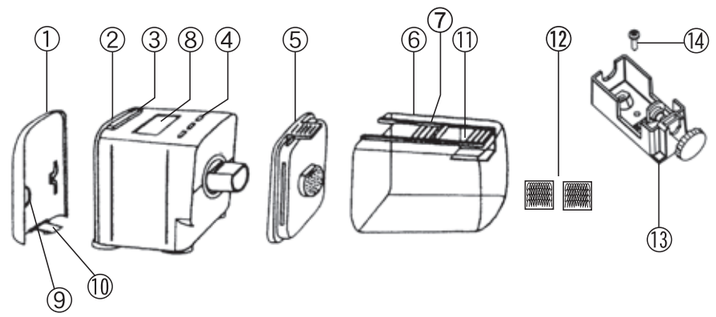
06.24

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告・注意などをよく読み、よく理解してからご使用ください。間違った使い方は、人や生体への影響、器具類の故障、感電、火災などの重大な事故の原因となりますので、絶対に避けてください。

● 本製品は屋内使用専用です。屋外では使用しないでください。
● 湯気など湿気の多すぎるところ、ホコリの多い場所では使用しないでください。（感電、発火、故障のおそれあり）
● 本製品に防水性はありません。本製品を濡れた手で扱わないでください。(故障のおそれあり)
● 本製品を水に濡らしたり水中に落とした場合は、すぐに電池を抜いて絶対に再使用しないでください。(発熱・発火・発煙のおそれあり)
● 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。(故障のおそれあり)
● ドライブユニットは分解したり、改造したりしないでください。
● 充電式の電池は使用しないでください。
● 小さなお子様に操作させたり、さわらせないでください。
● 本製品は安定で平らな場所にしっかりと固定・設置してください .（落下のおそれあり）
● 給餌コンテナの取り付けや取外し、電池の入れ替えなどの際は、水槽から本体を取り外した状態でおこなってください。水槽水面近くでは作業しないでください。（水槽への本体や餌の落下のおそれあり)
● エアー吸入口は、湿気を吸入しない場所にセットしてください。
● 本製品に不適切な餌 (大きすぎる、生の餌、冷凍の餌など) は使用しないでください。(故障のおそれあり)
● 使用する餌の形状によっては、餌排出口に引っかかる可能性があります。
● 1 日に 1 度は正常に作動しているか確認してください。異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、生体の安全のための適切な処置をおこなってください。
● お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。
● 本製品のご使用時における本製品以外（魚・水草などの生体、器具、家財など）への補償はいたしかねます。

各部の名称

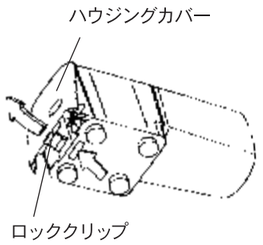


①ハウジングカバー
②ドライブユニット（電池収納部付）
③（手動給餌用）ワンタッチキー
④プログラミングキー
mode ＋ set
⑤コンテナカバー
⑥給餌コンテナ
⑦給餌量調節スライダー
⑧表示窓（液晶パネル）
⑨エアー吸入口
⑩ロッククリップ
⑪餌排出口
⑫面ファスナー
⑬固定ホルダー
⑭固定ホルダー用ネジ

ご使用方法

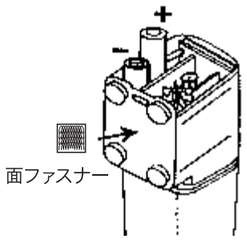
1　使用電池について

本製品は単3アルカリ乾電池（1.5V）2 個を電源とします。電池が消耗すると表示窓に「LO」と表示されますので、新しい電池と交換してください。電池交換の際は、必ず 2 個とも新しい電池と交換してください。
「LO」表示から 3 日間経過すると表示窓が点滅を始め、本製品の運転が停止します。
※停止時は、給餌コンテナの排出口はエサがこぼれないように上を向いて止まります。



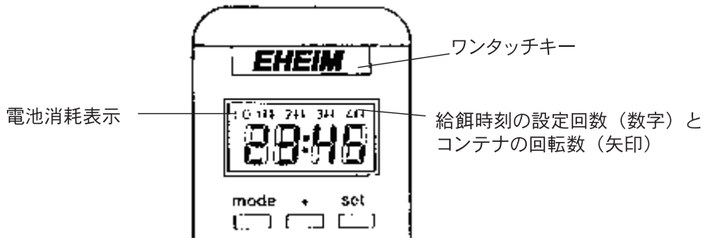
2．電池交換の方法

①ロッククリップを軽く押して、ハウジングカバーを外します。
②電池を＋ーの方向に注意して、図のように入れます。
③ドライブユニットの上端の溝と下端の縁にハウジングカバーを合わせ、電池を押さえながら閉じます。
※ワンタッチキーに手を触れないようご注意ください。



3．画面表示とボタンによる設定

表示窓（液晶画面）の時刻の上に表示される数字は、1 日のうちの給餌時刻の設定回数を示します。数字の隣に表示される矢印は、給餌コンテナの回転数を示します。（下図）。給餌時刻は 1 日 4 回まで設定できます。



矢印↓の数	給餌コンテナの回転数
なし	回転しません
1 本↓	給餌時刻に 1 回転します。
2 本↓↓	給餌時刻に 1 回転し、その 1 分後に再び 1 回転します。

EHEIM　ワンタッチキー

設定した給餌時刻以外でも給餌をおこなうことができます。
このキーを押すと、給餌コンテナが 1 回転します。

mode

モードキー

表示窓の表示を切り替えることができます。コロン (:) が点滅している場合は現在時刻、点滅をしていない場合は設定された給餌時刻を示します。

＋

プラスキー

点滅する数字の加減や矢印の本数の変更ができます。押し続けることにより数字を早送りすることができます。

set

セットキー

モードキーと組み合わせて、現在時刻・給餌時刻・給餌コンテナ回転数を設定・変更し、確定に使用します。

4．設定方法

■現在時刻の合わせ方

：点滅

例	操作	表示窓
午前 7：30 にセットする	電池を本体に入れる。	00：00
	セットキー（set）を押す	00：00
	プラスキー（＋）を押す	07：00
	モードキー（mode）を押す	07：00
	プラスキー（＋）を押す	07：30
	セットキー（set）を押す	07：30

■給餌時刻および給餌コンテナの回転数の設定

例	操作	表示窓
初回の給餌時刻を午前 8：30 にセットし、給餌コンテナを 2 回転させる。	モードキー (mode) を押す	1 00：00
	セットキー（set）を押す	1 00：00
	プラスキー（＋）を押す	1 08：00
	モードキー（mode）を押す	1 08：00
	プラスキー（＋）を押す	1 08：30
	モードキー（mode）を押す	1 08：30
	プラスキーを 2 回（＋＋）押す	1↓↓ 08：30
	セットキー（set）を押す	1↓↓ 08：30

※2回目以降もセットする場合は、モードキーを押して、上記の操作と同様におこないます。最大で4回までセット可能です。
※設定完了後は、モードキーを 5 回押して、現在の時刻の表示画面に戻ってください（現在時刻の表示時は、コロン (:) が点滅します）

5．給餌コンテナへのエサの詰め方

まず、コンテナカバーがついたまま給餌コンテナをドライブユニットから外し、内部を洗浄・乾燥させた後、エサを入れてください。
入れ終わったら、コンテナカバーを取り付け、給餌コンテナをドライブユニットの軸に合わせて装着してください。

⚠ 注意　給餌コンテナの取り付け、取外しの際は、ドライブユニットとの接続部分を持って、まっすぐ取り外してください。先端部分を持つとコンテナカバーが外れてエサがこぼれるおそれがあります。

6．エサについて

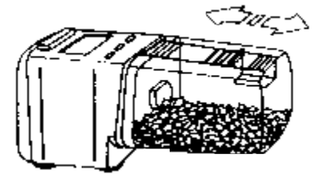
本製品は、粉末・顆粒・粒・フレークなど、いろいろな種類のエサが使用できます。ただし、以下のエサについては、本製品では使用できない、もしくは使用が適さない場合があります。

【使用不可】
・活餌
・冷凍飼料
・水分が多いエサ
・半生のエサ
・15mm 以上あるエサ

【使用が適さない場合がある】
・フレーク状のエサ：フレークの形状によって給餌量にバラツキが出ることがあります。
・10mm以上や特殊な形状（スティック状やタブレット等）のエサ：給餌量にバラツキが出ることがあります。

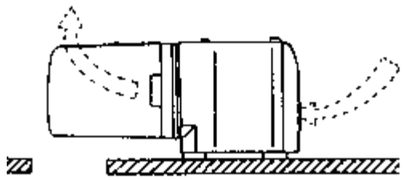
7．給餌量の調節

給餌量調節スライダーにより、給餌コンテナの排出口の開き具合を調節して、1回転あたりのエサの量を調節します。
※使用するエサの大きさや形状により、給餌コンテナ 1 回転あたりのエサの分量は変化します。本体を水槽にセットする前に、ワンタッチキーを操作してエサの分量を確認・調整してください。



8．設置場所

給餌コンテナの回転時に、餌が水面に落ちる位置に本体を設置してください。位置がずれないよう、付属の面ファスナーをご使用ください。



⚠ 注意　ドライブユニットの後ろにあるエアー吸入口が、湿気を吸入しない位置に設置してください。エアー吸入口は、ふさがないようにしてください。

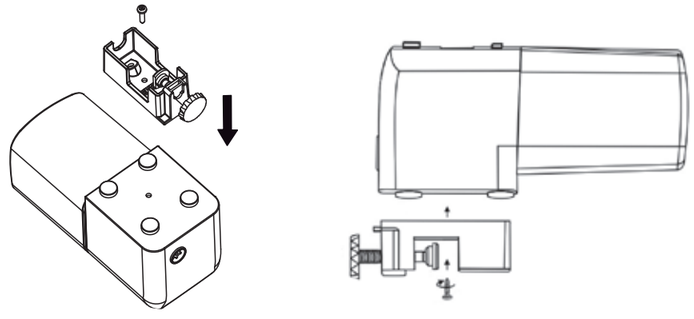
※エアーサーキュレーションシステムは給餌コンテナの回転中のみ作動します。
常時作動するものではありません。

9．固定ホルダーの使用方法

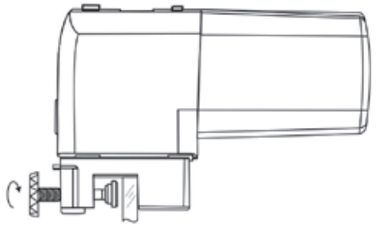
付属の固定ホルダーをご使用いただくことで、水槽フチへの本製品の固定が可能になります。

①オートフィーダー本体への取り付け

本体裏面のネジ穴部と固定ホルダーのネジ穴の位置を合わせ、固定ホルダー用ネジで取り付けます。



②水槽フチへの取り付け

固定ホルダーの隙間調整ネジを回して、水槽フチに取り付けます。

⚠ 注意　電池交換などでハウジングカバーを開ける際は、本体を固定ホルダーから取り外してください。